



## 6代目「道頓堀グリコサイン」完成

### LEDを採用して多彩な映像も楽しめます

#### <概要>

江崎グリコ株式会社は、大阪道頓堀のグリコ看板のリニューアルに向けて、2014年8月から大幅な改修工事をしておりましたが、このたび6代目となる看板が完成しましたので10月23日（木）に披露いたします。

当社が道頓堀に大型看板を建造したのは1935年（昭和10年）。以降、街のシンボルとして親しまれており、2003年には「大阪市指定景観形成物」として認定されています。1998年7月からは5代目看板を設置していましたが、16年が経過し老朽化が進んだため、2014年8月17日に最終点灯したのち、翌日から改修工事を行ってまいりました。

6代目「道頓堀グリコサイン」は、これまでのネオン灯に代わり、LEDを採用し、多彩な映像演出によって、ご通行やご観光の皆様を楽しませることが可能となります。これまでよりも、さらに多くの世界中の方々に親しまれ、愛される日本のランドマークを目指します。

新しく生まれ変わる6代目「道頓堀グリコサイン」にご期待ください。

#### ●正式呼称 「道頓堀グリコサイン」

#### ●スペック

	(6代目) 道頓堀グリコサイン	(参考) 5代目グリコ看板
大きさ	高さ 20.00m×横幅 10.38m	高さ 20.00m×横幅 10.85m
点灯の仕組み	LEDチップ:約 14 万個 (143,976 個)	ネオン管:総数約 4,460 本
点灯時間	18 時点灯、24 時に消灯	日没 30 分後に点灯、24 時に消灯

#### ●グリコからのコメント

これまでよりも、さらに多くの世界中の方々に親しまれ、愛される日本のランドマークを目指したいと思っております。これまでの看板同様よろしくお願いいたします。

【ご参考①】 これまでのグリコ看板

<p>初代 昭和 10 年～</p>	<p>大阪道頓堀川、戎橋のそばに初めてグリコのネオン塔が立ったのは 1935 年(昭和 10 年)。高さ 33m を誇るネオン塔は、トレードマークのランナーとグリコの文字を 6 色に変化させ、同時に毎分 19 回回転する花模様で彩ったものでした。当時としては型破りのネオンで、一躍大阪ミナミの名物となりました。</p>	
<p>2 代目 昭和 30 年～</p>	<p>1943 年(昭和 18 年)、戦況が厳しくなり鉄材供出のため撤去されてしまいましたが、戦後の 1955 年(昭和 30 年)、2 代目が再建されました。ネオン塔(高さ 21.75m)は砲弾型の下部に特設ステージ(高さ 5.26m)を持つユニークなもので、そこでは大きな人形のワニ君がピアノをひいたり、人形劇を演じたり、ロカビリー大会を催したりしました。</p>	
<p>3 代目 昭和 38 年～</p>	<p>1963 年(昭和 38 年)には 3 代目にバトンタッチ、噴水ネオン塔になりました。12 トンの水が、トレードマークの中心部にある 150 本の水車状のノズル(高さ 18m、横 8m)から噴き出し、12 色のランプ 400 個がそれを照らして、きれいな虹の模様を描きました。落下した水はまたポンプで上のタンクに戻す仕掛けになっていました。</p>	
<p>4 代目 昭和 47 年～</p>	<p>高さ 17m、横 10.85m で 1972 年(昭和 47 年)に建設しました。バックになっている陸上競技場のトラック部分を点滅させ、トレードマークのランナーに躍動感を持たせたネオンでした。このネオン塔は、日没から午後 11 時までネオンが点灯し、競技場の中央コースからゴールインするランナー姿が川面に映え、看板を背景に記念撮影するほどの名物看板になっていました。隣接するビル改装に伴い 1996 年 1 月 21 日に消灯、その翌日から撤去しました。</p>	
<p>5 代目 平成 10 年～</p>	<p>1998 年(平成 10 年)7 月 6 日(月)、4 代目の撤去後、約 2 年半ぶりに再点灯されました。陸上競技場のトラックを走るランナーの背景には、大阪を代表する 4 つの建物(大阪城、海遊館、大阪ドーム、通天閣)が描かれています。また、バックの情景の色が変化することで、朝、昼、夕焼けそして夜と、ランナーが大阪の街を一日かけて走っているような姿を表現しました。2014 年 8 月 17 日(日)消灯 【大きさ】 高さ 20.00m、横幅 10.85m 【ネオン管】総数約 4,460 本、のべ 5100m。全 7 色 【点灯時間】日没 30 分後に点灯、24 時に消灯</p>	

【ご参考②】 指定景観形成物について

5 代目看板は、2003 年 4 月、「大阪市指定景観形成物」に指定されました。これは、大阪市都市景観条例に定められており、大阪市民が親しみ、誇りともする景観的にも優れた建物などを所有者の同意を得たうえで大阪市長が指定するものです。制度制定後の初の指定では当社ネオンのほか、大阪城天守閣、住吉大社など歴史的建造物を含む 12 の建造物が選ばれました。

【ご参考③】 グリコのランナーについて

このランナーは、1922 年の江崎グリコの創業時、つまり、「栄養菓子 グリコ」の創製時に、そのコンセプトに合致するものとして誕生しました。以来、企業理念「おいしさと健康」を表すシンボルマークとして、90 年以上にわたり親しまれております。陸上選手がゴールインする瞬間の姿をモチーフにしており、商標としての正式名称は“ゴールインマーク”です。